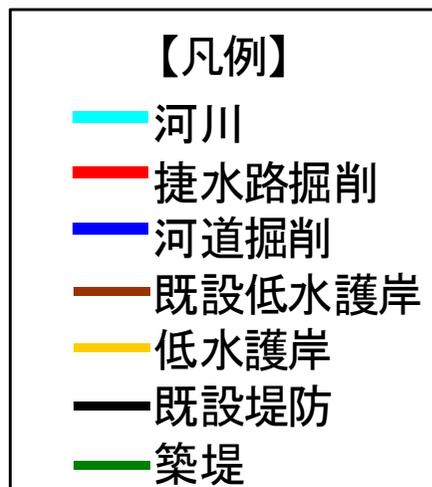


湧別川の治水事業

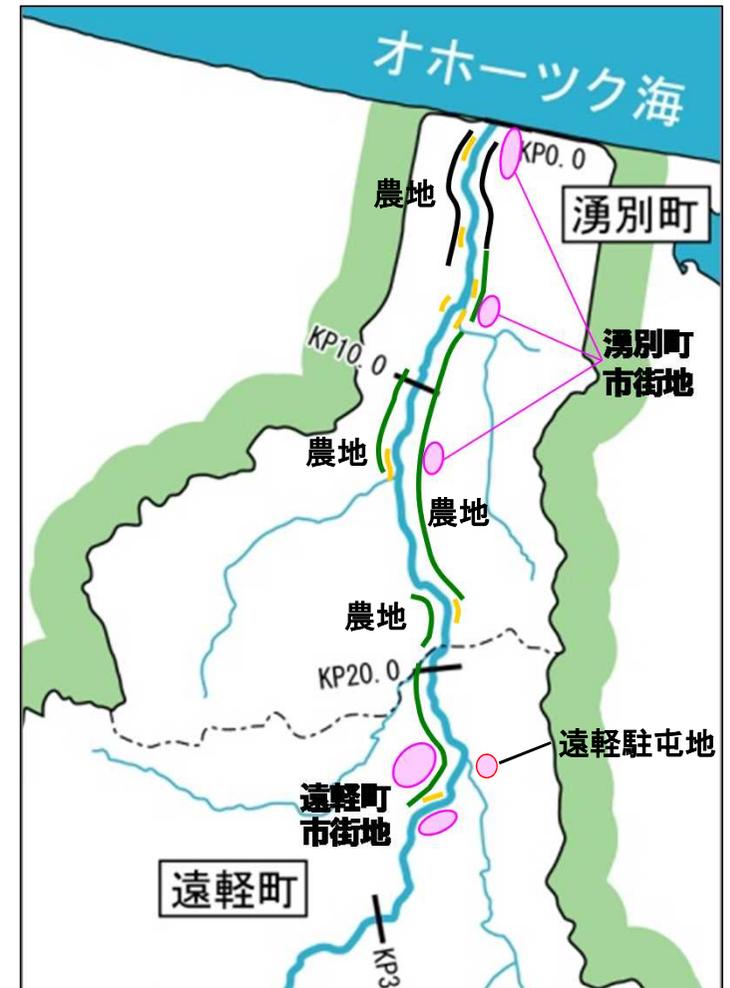
これまでの主な河川整備

河道掘削、堤防整備 (S9~S40)

- 昭和9年の第2期拓殖計画の一環として、遠軽町や湧別町の洪水はん濫を減少、及び土地利用促進を目的に、築堤工事と捷水路工事を中心に治水事業を実施。
- 昭和20年代から昭和40年頃にかけて、引き続き遠軽町や湧別町の土地利用促進及び洪水はん濫を減少させるため、築堤工事を中心に行い、水衝部には護岸工事を実施。
- 堤防は中流部の遠軽地区右岸及び河口の一部を除き概成し、市街地が拡大した。



昭和9年～昭和20年頃



昭和20年頃～昭和40年頃

遠軽市街の堤防整備 (S35)

■昭和35年 遠軽市街の堤防整備

- ・ 経済発展及び諸情勢の変化に対応し遠軽市街の右岸側に堤防を整備、現在は市街地が拡大している。

凡 例
— 堤防整備箇所



遠軽市街

遠軽市街が形成されるものの、堤防整備が進んでいない



築堤及び河道掘削等の実施により湧別川両岸側に市街地が広がる



遠軽駐屯地

遠軽市街地

遠軽市街における治水計画

導流堤 (S37)

◆ 湧別川河口が位置するオホーツク海沿岸は、北側から南側に砂州が発達する傾向にあったため、船の安定航行を目的として昭和37年頃から導流堤の整備が行われた。

■ 導流堤の効果

- ・ 河口部左岸側に導流堤を設置することにより、河口閉塞の防止に効果が発揮されている。

旧湧別漁港
(現在は築堤が整備
され埋立てられて
いる)

現湧別漁港

旧湧別漁港への航路を維持
河口閉塞の防止に効果

湧別川

導流堤

海流

昭和22年

湧別川

オホーツク海

平成19年

導流堤

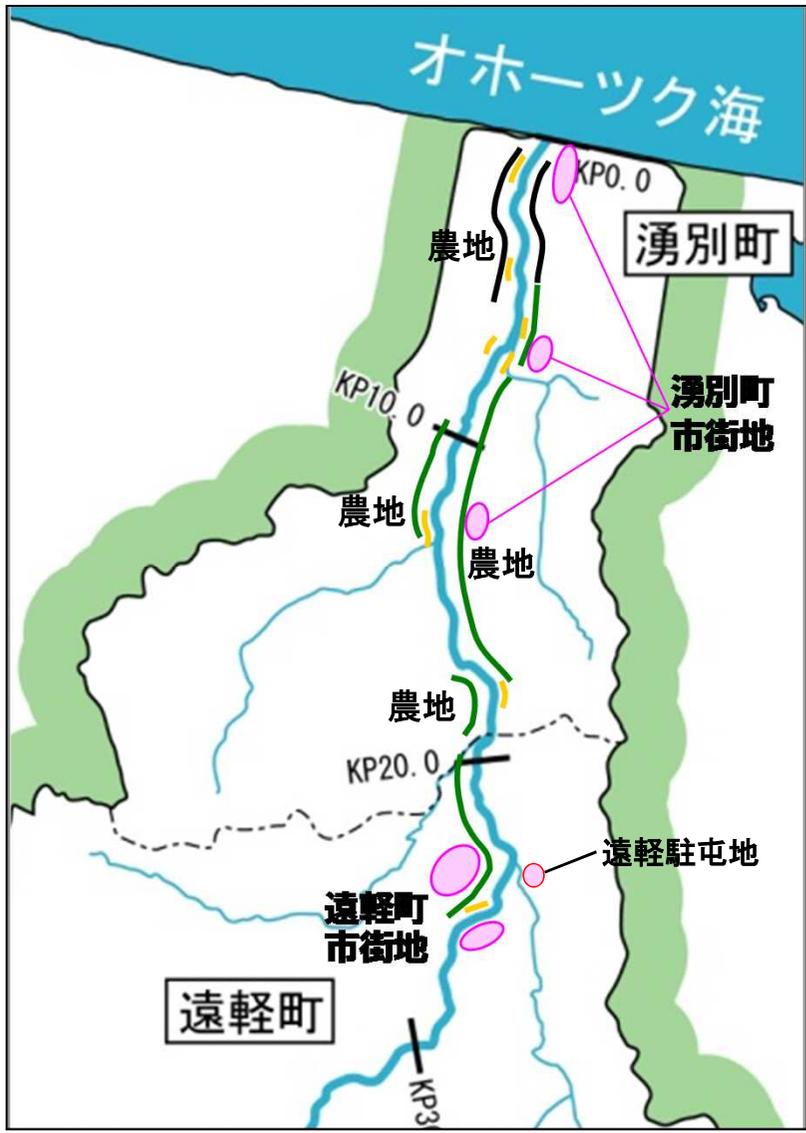
オホーツク海

湧別川

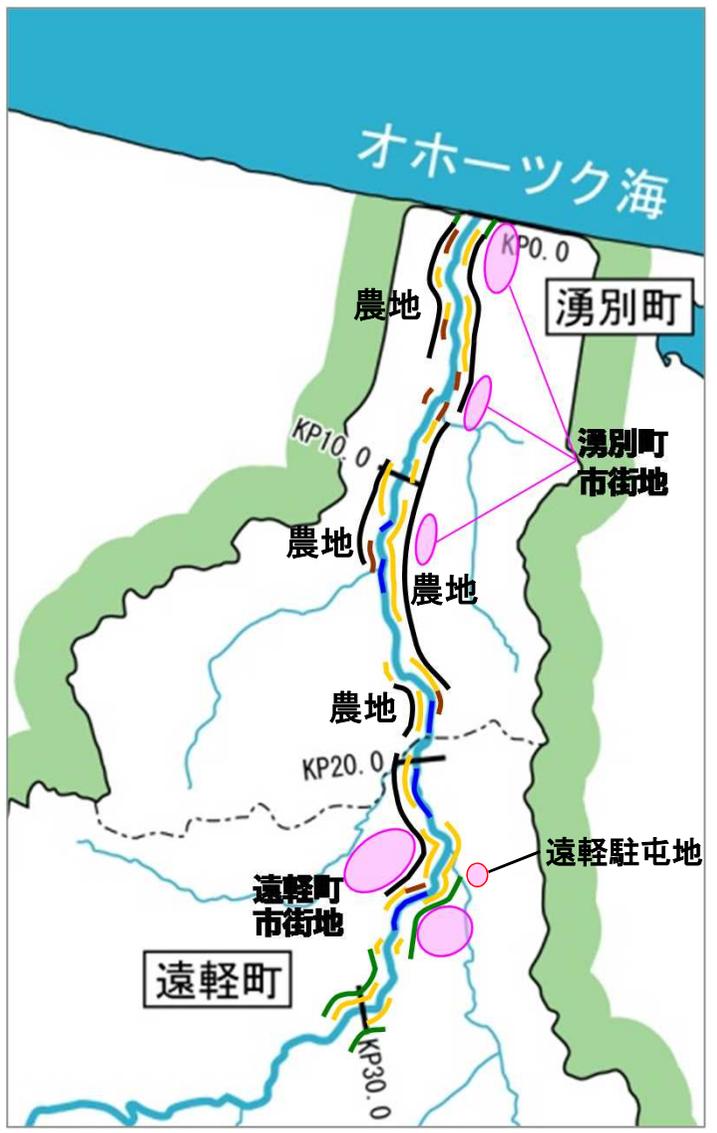
遠軽市街の堤防整備 (S40～現在)

■昭和44年に湧別川水系が一級河川に指定されたことを受け、工事实施基本計画が策定され、継続して築堤、河道掘削及び護岸工事を実施。遠軽市街地では右岸側にも堤防を整備し、市街地が拡大。

- 【凡例】
- 河川
 - 捷水路掘削
 - 河道掘削
 - 既設低水護岸
 - 低水護岸
 - 既設堤防
 - 築堤



昭和20年頃～昭和40年頃



昭和40年代以降～現在

河口部無堤区間の築堤

- 河口部無堤区間の築堤
 - ・ 河口部の無堤区間の築堤 (平成19年完成済)



河口部の無堤区間の築堤